

2022年12月号

焼き芋

ほっか
ほっか

秋の風物詩と言えば「焼き芋」ということで、ひだまりで焼き芋を作りました。

ご利用者に買ってきたさつま芋を丁寧に水洗いし、アルミホイルでしっかりと巻いてもらいました。皆さんで作業をしたのであっという間に準備ができました。

陶器の器で芋を焼き上げます。焼きあがったお芋は、甘くてホクホクしていてとても美味しかったです。



みなみ苑「どら焼き」

おやつ時間に今月はホットケーキの素を使って「どら焼き」を作りました。

ご利用者は「餡子のおかわり」「餡子なしで」「美味しいよ。合格」と言って、とても喜んで召し上がっていました。



みなみ苑「日常の生活風景」

みなみ苑のご利用者は、まだ新型コロナウイルスの感染がおさまらないため外出がままならないので、ホールで趣味の塗り絵をしてみえる方や職員のお手伝いでビニール袋をたたんでくださる方、雑巾縫いをしてくださる方、紙細工のパーツを作ってください方など人それぞれが時間を有意義に使って見えました。

時には、「目がショボショボするよ」「向きはこれでいい?」とご利用者同士で会話をしながら過ごされていました。



あい寿の丘「切り花」



あい寿の丘の中庭に咲いている花を切ってきたところ、「秋も終わりで、これが今年最後の花になるかな」「綺麗だねえ」と言いながら手に取って花束にする方や、「捨てるには 勿体無い花束 古希を過ぎ」と俳句にしてくれる方が見えました。



あい寿の丘 「紅葉」

紅葉の時期になってきました。そこで器の中にもみじの葉を浮かべ、それを見ながら赤やオレンジ色の色紙を使ってもみじのちぎり絵を作りました。

「綺麗な色だね」「秋だね」「昔は、仕事仕事でゆっくり庭など眺めたことなかったなあ」など、ちぎり絵をしながらお話されていました。



南知多町デイサービス「秋の壁面 秋まっさかり」

紅葉したもみじの木のまわりに、黄色く色づいたイチョウの木が立っている秋の風景の壁面を作りました。木の根元には、ハロウィンのかぼちゃが並んでいます。

ご利用者に、かぼちゃの形に切った画用紙に、オレンジ色の色紙を貼っていただきました。「これは、みかんかね？」との質問が多く聞かれ、やっぱり、オレンジ色のこの形は、かぼちゃよりもみかんの方がおなじみなんだと感じました。



南知多町デイサービス 「玄関の模様替え」

ご利用者を毎日出迎える、玄関スペースの模様替えを行いました。

レインコートや机などを移動させ、ご利用者が作成した花束の壁面を飾りました。飾った壁面を見て「ホールに飾っていたものだね」「玄関が明るくなったね」と、ご利用者は喜んでいらっしゃいました。



ひだまり「コスモスツアー」

ひだまりのご利用者を連れて近くのコスモス畑へ外出してきました。外出準備が出来て、「さあ～出発ですよ」とご利用者に声をかけると目を輝かせてみえました。色とりどりのコスモスを見ながら「綺麗だね」「花が大きいね」「気持ちが良いね」等ご利用者同士で話しをしていました。暖かな日差しを浴びながら爽やかな空気を身体一杯に取り込み元気を頂きました。



そよかぜデイサービス「パイ作り」

そよかぜ農園で収穫されたさつまいもとライオンズクラブ様から頂いたリンゴを使ってパイを作りました。皮剥きをしてさつまいもは潰し、リンゴはイチヨウ切りにしてからパイで挟みました。



南知多ライオンズクラブ様より リンゴの寄付をいただきました

今年も南知多ライオンズクラブ様より新鮮な「信州リンゴ」3箱の寄付をいただきました。ご利用者にはリンゴのコンポート等に調理しておいしく召し上がっていただきました。

